



ら び っ く La・BOOK

12月号

No.18

掘金図書館：おもてなしプロジェクト

ずく出し！（図書館へ）
知恵出し！（たまには本から知恵を）
（お家から）おもてなし

“日本一のおもてなし県を目指して”と阿部知事が表明しました。2020年に開催が決まった『東京オリンピック』の招致プレゼンテーションでも「お・も・て・な・し」という言葉や振る舞いが功を奏したとも言われています。

そこで、「おもてなし」が注目されている今、企画展を計画してみました。

- おもてなしの三要素は、①ふるまい（振る舞い）
②よそおい（装い） ③しつらいとされています。
- ①振る舞い…笑顔、あいさつ、声掛け、気働き、言葉遣いなど主に態度面
 - ②装い…第一印象、身だしなみなど外観面
 - ③しつらい…心地よい良い空間づくり、案内・表示、美化など準備面

『嫁ぐ娘へ』の著者、青柳政子さん（掘金在住）が著書の中で、…「人を思いやる心」を持ち続けてほしいと、ただそれだけを願います。…と記しており、おもてなしの原点だと感じています。

これを機会にまずは家庭から。「広げよう！おもてなしの輪！」



掘金図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

田尻の目赤不動について書いてある本はありますか？

小学生が質問にきた。「郷土を知ることは、素敵な故郷を考え、愛することができる素晴らしい機会になる」と感心しながら探してみた。郷土の歴史・文化に関する書に収められていた。



【関係資料】

- ◆あづみ野 掘金の民話 37p～
- ◆あづみ野 掘金の民話と伝説
～お母さんのための伝承～ 144p～
- ◆掘金村誌下巻 856p～
- ◆昭和52年3月発行 掘金 第7号
～郷土誌資料～ 19p～
- ◆アルプスの里[掘金]
～その歴史と文化～ 150p～
- ◆季刊：安曇野文化第5号 36p～

掘金田尻の目赤不動は、東京の目黒不動、目白不動とならんで日本三大不動として親しまれている。慶長3年（1598年）に修験者 勝覚が寄進したといわれている由緒あるお不動様である。昭和3年1月6日夜、行の残り火が堂に燃え移り、堂は全焼。像は、運び出されたが、左手など一部が焼けてしまった。その後修復されて今に至る。

私と図書館

私にとって図書館は、いつもの生活を一時忘れることができる、特別な場所だ。

静かな空間の中で、棚に並べられた本をゆっくり見ながら、自分が読みたい本を探す。そんな時間を大切にしたいと思っている。

あるきっかけで、私は人に会うことも話すこともイヤになり、仕事から離れたことで、社会から孤立してしまつたと感じていた時期があった。けれど、時間が経つにつれ、前向きな気持ちを持つようになり、今は図書館サポーターとして図書館に足を運んでいる。

そこで会う人たちと一緒に作業をしたり、話をしたりすることで、楽しい時間を持つようになり、自己満足かもしれないが、社会と繋がるのが少しできたような気がしている。

(40代女性)



11月貸出ランキング

一般書

- 1 神様のカルテ3 / 夏川草介
- // 宰領 / 今野 敏
- 3 祈りの幕が下りる時 / 東野圭吾
- // 北の街物語 / 内田康夫
- 5 海と月の迷路 / 大沢在昌
- // 禁断の魔術 / 東野圭吾
- // 検察側の罪人 / 雫井脩介
- // 政と源 / 三浦しをん
- // 流星の絆 / 東野圭吾

児童書

- 1 かいけつゾロリシリーズ / 原ゆたか
- 2 バムとケロのシリーズ / 島田ゆか
- 3 ミッケ! 6 / ウォルター・ウィック

AV資料

- 1 おじゃる丸 / 大地丙太郎
- // 崖の上のポニョ / 宮崎駿監督
- // ゲゲゲの鬼太郎 / 本木克英監督
- // ハリー・ポッターと賢者の石 / クリス・コロンバス監督
- 5 アバター / ジェームズ・キャメロン監督
- // 借りぐらしのアリエッティ / 米林宏昌監督
- // のりもの探検隊 / NHKサービスセンター

昨年のクリスマス・イブのこと

「みらい」のカウンターに、1人のお父さんがやって来ました。「3人の子どもたちに、ここの図書館に来よう手紙を出しました。子どもたちがやって来ますから、冊子を渡してほしい」というのです。

話をよく聞いてみると「今年のクリスマスは、プレゼントをあげるだけでなく、子どもたちが、自分たちでサンタさんからの手紙を解読していくようにしたい。その手紙を、図書館の中に仕掛けておこうと考えたけれど、今日は振替休日なので午後6時閉館で入れない。子どもたちがカウンターに来るようにヒントを与えるので、手渡してほしい」との願いでした。「わかりました。そういうことならば、協力しましょう」と返事をすると、エントランスホールのテーブルで、その冊子を完成させました。

夜になると、母親が子どもを連れてやって来ました。職員のMさんが「図書館は閉まっているので、私が探してきましょう」と、探す振りをしてから手渡しました。子どもたちは、冊子を見ながら協力してサンタさんの手紙を解読していきました。一番上のお兄ちゃんはお中学生らしいので分かっていたようですが、下の子の夢を壊さないようにしていました。

そんな様子に、みんなの優しい眼差しが注がれ、温かな時が流れました。そして、子どもたちに「夢と感動」が届きました。



本のソムリエ（職員）おすすめ本

一般書 『羊男のクリスマス』

文・村上春樹 / 絵・佐々木マキ / 講談社

表紙

羊男協会から名誉あるクリスマス音楽の作曲者に選ばれた羊男。しかし、締切間近になっても一小節も浮かんでこない。羊博士に相談すると、呪いがかかり曲を作ることができないのだ、と言われる。呪いをとくためには、クリスマス・イブの夜、穴に落ちるしかない。ため息をつきつつ、一人深い穴に入っていく羊男だったが…。次々に登場する奇妙な生き物が繰り広げる、クリスマスの物語です。1985年発行の短編。
(三郷図書館)

児童書 『さむがりやのサンタ』

レイモンド・ブリックス / 福音館書店

表紙

サンタクロースが、ももひきをはいてサンドイッチとポットを肩にかけ、クリスマスプレゼントを配りに出かけます。えんとつに四苦八苦、吹雪に「ちえっ! まったく」、途中で「はーくしよい」。愉快で人間臭いサンタさんが、とてもかわいらしく描かれています。子どもはもちろん、大人も楽しめるクリスマスの定番絵本です。
(三郷図書館)

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-5796
 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※
 今年5月に始まった
 インターネット予約
 が、順調に伸びてきて
 いる。昨年の同時期に
 比べ、予約数は約2倍
 の千件、貸し出し数は
 1万4千冊増の32万
 1千冊となっている。
 みなさんにとって、
 更にご利用しやすくする
 努力を、積み重ねてい
 きたいと思
 います。

